

令和6年2月29日(木)
北野高校 学校運営協議会

令和5年度 第3回北野高等学校運営協議会議事録

1. 日時 令和6年2月29日(木) 13:00~14:00
2. 場所 校長室
3. 出席者 **【委員】**
PTA 会長、大阪大学量子情報量子生命研究センター特任教授、
六稜同窓会事務局長、六稜同窓会学年理事、大阪市立新北野中学校校長
【事務局】
校長、教頭、事務長、首席2名、教務部主任、進路部主任、指導部主任、
記録2名
4. 議事次第
 - (ア) 校長挨拶
 - (イ) 事務局より報告
 - (ウ) 協議・意見交流
 - (エ) その他
5. 議事の経過(敬称略)
 - (ア) 校長挨拶
3年生、休みが少なく、共通テストの成績も良い。特に頑張ってくれた。
今後ご協力をお願いしたい
 - (イ) 事務局より報告
【教頭】
 - ・授業アンケートの経年変化
昨年度より上がっているものが多い。特に公民科では顕著。
ただし、2年生は減少傾向にある。**【進路部】**
 - ・共通テストの結果が良い。他校との比較をしても昨年度からの伸びが大きい。基礎学力がきちんとついている。
 - ・出願状況は例年並み。やや関東志向が強まってきているか。
 - ・大きな失敗や病気等はなし。今年度は力を発揮しやすい問題だった。**【首席】**
 - ・Google form によるアンケート。回答数は減ったが、集計の正確さや回答のしやすさがある。
 - ・学校教育診断の結果と分析。肯定的な結果で頭打ちか。生徒の満足度は非常に高い。ただし、地域貢献・ボランティアは毎年低い。
 - ・保護者の回答(率)が低くなっている。学校情報の公開については努力しているが、改善する必要がありそうだ。

【質疑・応答】

- ・保護者と生徒用のアンケートについて。保護者と生徒の回答数が異なる。保護者の回答項目の「分からない」・「どちらともいえない」をどう評価するか。<大阪大学教授>
- 経年変化を見ているため、質問の抜本的な変更を行いにくい。<首席>
- 問29「子どもを通わせてよかった(保護者)」、問34「この学校に通ってよかった(生徒)」を一番重要視している。これに関する結果は肯定的だった。<校長>
- ・授業アンケートについて。分析はされているか。<大阪大学教授>
- PCに関して、一人ひとりにきめ細やかな対応ができていないかもしれない。中学での取り組みに差がある。<教頭>
- 情報に関しては、生徒の理解度や技能の差が大きくて、対応が難しそう。<校長>
- ・授業アンケートに関して、Google Formの是非。<六稜同窓会学年理事>
- マークシートより良いという声はある。回答率については、マークシートなら全員回収なのに対して、Google formだと個人に任せる形になる。時間内に回答できない生徒もいる。現状メールで送っているが、回答率を向上させるために対策を取りたい。生徒経由だと保護者の手に届きにくい。<首席>

(ウ) 協議・意見交流

学校経営計画及び学校評価に関して、

- ・教職員の授業相互見学の割合が低くなっている。理由は不明。<校長>
- 概ね1回以上は見学している。<教頭>
- ・「悩みや相談に乗ってくれる教員が多い」、「保健室や相談室を利用しやすい」の割合が増加している点は喜ばしい。<校長>
- ・ペアワークやグループ活動、発表の機会が多い。
- ・コロナが明けて、海外との交流が増えた点は喜ばしい。国際的な視野を広げるために、様々な国からの受け入れなどを積極的に行っていきたい。
- ・補習より、授業内で完結することが大切。授業第1主義が働き改革にもつながるのでは。<校長>

【質疑・応答】

- ・アンケートの数が多いことに関して。<大阪大学教授>
- 学校独自より、教育委員会からのものが多い。<校長>
- 報告書を作りやすい利点はあるが、生徒のためにも改善の余地あり。アンケートの整理を考える必要がある。形式に流れるのではなく、本当に知りたいことを聞くべき。<大阪大学教授>
- ・第3回校内模試の外部委託について。業者選択の経緯について。<六稜同窓会学年理事>
- 計画書を基に、校内で選抜委員を構成し、業者の第1候補を選択。全ての要望を満たすことは次年度だけでは難しいが、各教科と連携を取りつつ、北野に適したテストの作成を行

っていききたい。〈進路部主任〉

→長期的に協議する必要性はある。〈六稜同窓会学年理事〉

・第3回校内模試を委託することによる生徒のメンタル面への影響はあるか。〈PTA 会長〉

→考慮していく必要がある。活用方法についても検討する必要がある。〈進路部主任〉

4. その他

・学校への意見書の提出はない。

各委員からの講評

・授業中心主義は高校らしくて良い。〈大阪大学教授〉

・肯定的評価が多い点はよい。情報発信については、中学校に関しても改善の必要がある。

新北野中学校と生徒、教職員で交流していきたい。〈新北野中学校校長〉

・息子は受験直前も冷静。自立心を含め、北野高校で大きく成長した。北野高校は素晴らしい学校である。PTA 担当首席はPTA に寄り添ってくれて嬉しかった。〈PTA 会長〉